

## 数学序論追加説明 #8

- グラフは関数・写像を考えると有効であるが、それだけで証明にならないのはベン図の場合と同様である。

グラフを描いて「よって全射」と書いてあるだけでは何も示していない。

- 「数学の文法」に沿っていない文章はそれだけで「内容を理解していない」と見なされる。例えば写像  $f: A \rightarrow B$  があるとする。  $A$  の元  $a, b$  に対し

$$f(a \cup b)$$

などと書いてある答案は他に正しいことが書いてあったとしても即間違いと見なす。

- 「集合と元の混同」や「集合と論理の混同」も同様の扱いをする。
- 「混同」といっても、理解しているのに「たまたま」そのような間違った書き方をしたのか、それとも定義に対する理解がないのかで対応は変わってくる。  
後者が多数派の様に見えるが...
- **解答を書き上げた後に「推敲」を必ずすること。**

「その文章で他人に伝わるか」ということを考えること。

その過程でケアレスミスならそれに気が付くであろうし、理解が不十分ならもう一度定義を見直せばよい。